

震災を経験して学んだこと

「ゴゴゴーン」あのすべてをなぎたおしてゆく津波、その勢いは私の住む島をあとかたもなく粉々にしていった。

津波が過ぎた後の島は想像をはるかに超えるものであった。木は折れ、道路はめくれあがり、家は流され形を失っていた。生まれてからずっと住んでいた思い出のあふれる島を、あの一瞬で奪っていった。

震災後、避難所の皆さんの顔を見ても何をすればよいのか考えることができず、頭の中が真っ白になってしまった。（自分は今、何をすればいいんだ）

一週間がたっても、自分の頭の中ではいまだに整理がつかなかった。いつものように避難所で手伝いをしていると、先輩がこういった。「たしかに今の状況はひどいけど、大変だ大変だなんて騒いだって何も変わらないんだから、これからどうやって新しい浦戸を作っていくかを考えればいいんだよ」

その言葉を聞いて私ははっとした。過ぎたことをいつまでも気にしていてもしょうがない。前を向いていこうと気付くことができた。「震災に負けない力 新しい私たちの浦戸」を胸に、皆で力強く前へ進んでいきたいと思う。